

兵庫県細胞検査士会メールジャーナル

2023年
9月
号

【目次】

- お知らせ
- 役員のコラム（上岡）
- せるツイート
- 編集後記（ジャーナル担当）



1. お知らせ

- 1) 細胞診断能力開発プロジェクトについて
- 2) 2023年細胞検査士資格更新申請について

1) 第2回 細胞診断能力開発プロジェクト(プロジェクトABCD)について： 兵庫県細胞検査士会 会長 鳥居良貴

いつも兵庫県細胞検査士会の活動にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。
兵庫県細胞検査士会メールジャーナルにもご案内しております「ABCDプロジェクト」。
このプロジェクトはセルフスタディとして、Self-Study Survey(自己学習のための細胞テスト)を目的に教育的視野から自己学習を行う形式として実施しております。
もちろん外部精度管理ではなく、また強制でもなく自由参加な自己学習テストです。
「第2回ABCDプロジェクト」を届けさせていただきます。
既に兵庫県細胞検査士会ホームページ(<http://hyogoct.com>)のトップページにあります「症例検討」に公開しております。
症例検討 → パスワード入力くださいとありますから、半角にて下記入力ください。

8AQ4hd63eF

第1回と同様に、実際に試行していただき、ご意見ご感想がございましたら本メーリングリストにお寄せください。よろしくお願ひいたします。

2) 2023年 細胞検査士資格更新申請について

細胞検査士資格更新のお知らせが、日本臨床細胞学会ホームページ内に掲載されております。
対象の方は、ご確認下さい。

(今年はブルーカードの方が対象です。)

詳細は下記リンク先もしくは、学会ホームページからご参照ください。

日本臨床細胞学会 イエローページ ↓

<https://cdn.jscc.or.jp/wp-content/themes/jscc/zassi/62-3yp/62-3-09.pdf>



2. 役員のコラム

「 ジャック・ライアンが大好きです 」

JCHO 神戸中央病院 上岡 英樹

といつても何のことかわからないですよね。少し説明しますと、アメリカ合衆国大統領です。副大統領を経ての就任ですが、大統領補佐官としてホワイトハウス入りする前はCIAのアナリストその前は歴史の教師、その前は海軍将校でした。父親はボルチモア市警の警部補で第二次世界大戦時は合衆国海軍士官でした。息子がカレッジを卒業後に海軍に入隊したことを喜んだものです。

これはトム・クランシーの小説の話です。映画「レッド・オクトーバーを追え」やハリソン・フォード主演の「パトリオット・ゲーム」「いまそこにある危機」などが有名だと思います。あの頃のアナリストは出世し、話はその後も続くのです。

その後も数々の作品を発表し、おおくが全米ベストセラーになっています。ご本人はおよそ十年前に亡くなってしまいましたが、今でもジャック・ライアンシリーズとして別の作家が書き続けています。本人執筆のものは多くが絶版になっていて、当時買って読んだものはともかく、その後のものに関しては某中古本店の全国ネット・ワークを利用して買い漁りました。今ではトム・クランシーの作品としてのジャック・ライアンシリーズはほぼ揃えることができています。

米ソ冷戦時代に端を発し、日米貿易摩擦、中東問題、クリミア侵攻、米中摩擦、小説の後を時代が追うことしばしばです。そういう時代背景にその時々の立場で国のために東奔西走するジャック・ライアンにエールを送ってしまいます。彼の原点は愛国心です。彼の人生はある意味もらい事故みたいなものですが、その状況に置かれたことを真摯に受け止め、国のために愛する全ての人のために働く姿に敬意と親しみを覚えます。

読書の中で彼のすぐ横に、あるいは邪魔にならないようにすみっこで、透明人間になって物語に浸るのは至福のひとときです。

ずいぶん前ですが、アメリカを旅行した時に空港のロビーにトム・クランシーのハード・カバーが横積みで置かれていました。「アメリカの宝」と書かれたメッセージが添えられており、レーガンさんかブッシュさんからの直筆だったような気がします。

そんなわけで本を読む癖があります。国内外もジャンルにもこだわりはなく、その時代や人物や作者に凝つたらしばらくそれ三昧になります。「〇〇と読書」「読書と〇〇」何か昭和のキャッチフレーズみたいですが、そんな感じでやってます。

最後までお読みいただきありがとうございました。



3. せるツイート



～様々な角度から見てみよう～

「せるツイート」では、基本症例から難解症例、背景の物質や、油浸で見る細胞など様々な細胞像をゆる~いソリで出題または紹介いたします。

色々な角度から見た細胞像を気軽に共有しませんか？

もしかしたら、新たな発見があるかも！？

気になる細胞を「クイズ形式」や時には逆に教えてくださいと、「なげかけ形式」で紹介したいと思います。

※奇数月は問題、偶数月は回答やご意見を掲載いたします。

症例11はこちら↓

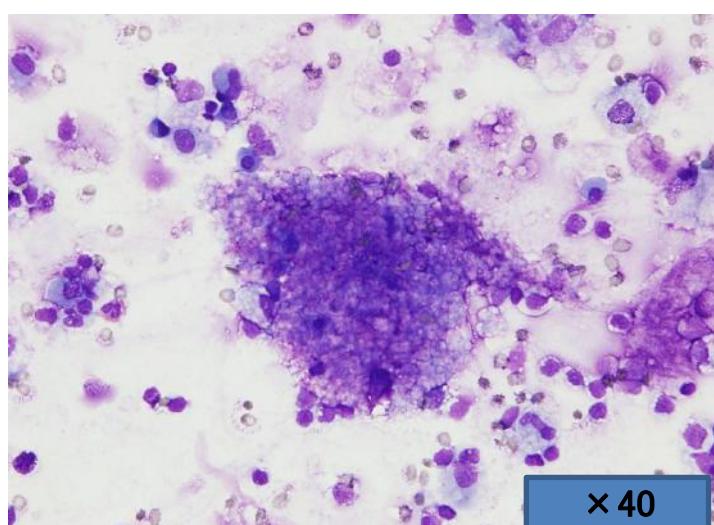
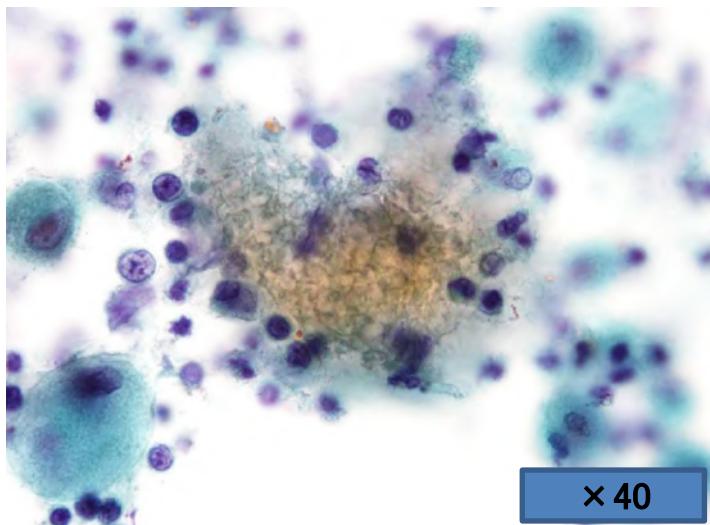
この細胞は何でしょう？

< 症例11 > 年齢および性別：70歳代 男性

検体：喀痰

臨床所見：肺穿刺吸引ステロイド内服中。

呼吸困難及び発熱。



5. 編集後記

ジャーナル担当:岡田、片山、黒田、坂本、濱武、山口



9月に入り、日の入りが早くなってきました。

職場から出ると外は薄暗くなり、夏の終わりを感じました。(まだ暑いですが…)

秋といえば、スポーツの秋といいますが、プロ野球では今年は18年ぶりに阪神タイガースがセリーグ優勝を決めました！

阪神ファンの自分としては、優勝決まった瞬間は歓喜に満ち溢れました。(阪神ファンじゃない方すみません…。)

2023年もあと3か月です。体調に気をつけつつ、頑張っていきましょう！

※兵庫県細胞検査士会では、

メーリングリストへの登録をお願いしています！

兵庫県細胞検査士会メーリングリストでは、メールジャーナルを初め、勉強会等、様々な情報を配信しています。

ご職場やお知り合いの方などで、登録が未だの方がいらっしゃれば、ぜひこの機会にお勧め下さい！
皆様のご協力をお願いいたします。

メーリングリストへのご登録、変更および登録解除はこちらから↓

兵庫県細胞検査士会 メーリングリスト

<http://www.hyogoct.com/ml-info.html>

兵庫県細胞検査士会へのお問い合わせはこちらから↓

<http://www.hyogoct.com/office.html>

兵庫県細胞検査士会ホームページ↓

<http://www.hyogoct.com/index.html>

